

薔薇と私



内村竹志 (写真)

ルクサのお客様 (文)

● はじめに

この電子本は、薔薇を愛でる人、もっと言うと薔薇中毒者に捧げます。

薔薇狂いの一人である私が、ネットショップ「ルクサ」を熱帯アジアで起業した時に、真っ先に作ったのが、本物の薔薇の香りにこだわりダマスクローズの精油のみで着香したローズ石鹸。おかげさまで、多くのお客様にご支持いただき、開店10周年を迎えることができました。

ルクサでは「薔薇と私」というテーマで、皆さまから多くの素敵なお文章をご投稿いただきました。その文章に、ルクサ店長の私が撮影した薔薇の写真を加えてこの本をつくりました。

薔薇の魅力を自分なりに再現し、薔薇を愛する多くの人と共有することが至上の喜びです。

内村竹志 マレーシア在住



薔薇にはとても懐かしい思い出があります。学生の頃に恋をしていた彼とたった1度だけのデートで、あれは伊丹だったかしら、「薔薇園」に行きました。お天気に恵まれ沢山の種類の薔薇も満開で、あたり一面薔薇のいい香りがしていました。今でも、野薔薇を見るとあの頃の切ない恋を思い出します。

(A.K.様)



小学六年生の時に近所で咲いていた薔薇の花
びらを勝手にもぎ取り新聞紙の 上に広げて
乾燥させてポプリもどきを自作したのが薔薇
の香りを自分のもの にしようとした最初の
出来事でした。わざわざ同級生のおじいさん
に原宿へ付き添ってもらい、当時まだ珍しか
った生活の木に薔薇の精油を買いに行き 余
りにも高価で手が出なかったことも覚えてい
ます (S.K.様)





はるか彼方の異国で、ホームステイ先の庭にひっそり咲いていた薔薇。ママが時折、幸せそうにじっと見つめていたのを思い出します。太陽の光から逃れるようにつぼみをつけた控えめな薔薇、あるいは、精一杯背伸びをして誇らしげに気品を保つ薔薇。小さな庭でも薔薇はやっぱり薔薇でした。私は異国だということを忘れ、ママの穏やかな横顔と視線の先にある薔薇に随分、こころが癒されたものです。（K.I 様）



うちには黄色いバラの花が毎年咲いてくれます。次々と咲いてくれるので、つぼみのうちに切り取ってきて一輪ざしの花瓶に入れて、気持ちを和ませてくれます。枯れる頃に次のつぼみという感じでその時期はお花を買わずに済みます。たくさんではないけれども香りも良いので幸せな気持ちになります。

(らりぷい様)



薔薇には、刺がある。私にも刺がある。
その刺をいつもだんなに突き刺しています。
(ちよこマッキー 様)



薔薇はとても優雅な気分にさせてくれるので大好きです。薔薇が好きになったきっかけはまだ小学生の頃、近所のおばさんの家でパンケーキをおやつにいただきました。その時に手作りの薔薇のジャムを塗ってもらったことでした。当時はとてもびっくりして家に帰るなり母に報告をしました。香りがとてもよかったです。

(りのまま様)

4年前、急に薔薇を育ててみたくなった私。それまでガーデニングには全く興味なし。ホームセンターに母の運転手としてついていただけでした。そんな私でも 厳選して選んだオレンジ色の薔薇が咲いてから病みつきになり、今では30種類ほど育てています。バラの栽培は気の短い私には結果がわかりやすく面白いです。

芽が出てきてほしいところで枝を切り、樹形を整え、一年に一回植え替えをして栄養たっぷいの土で育てると、四季咲きの薔薇でしたら一年に何度も咲いてくれます。朝の爽やかな空気にバラの香りが漂っているとなんとも幸せな気分になります。また趣味のカメラの被写体としても活躍してくれています。可愛い私の薔薇たち、これからも育て続けます♪ (K.Y.様)





薔薇と聞いて私が想像するのはやっぱりベルサイユの薔薇です。オスカルとアンドレの悲しい恋愛話はいつ見ても涙が出ちゃいます。(T-T) ベル薔薇が好きな私の小さいころの夢はベルサイユの宮殿に住み、アンドレのような美男子と結婚して、女王になることでした。(^-^; (夏代様)

結婚式のブーケに、白いバラ、それも、橋本不二子さんの絵に出てくるようなオールドイングリッシュローズがどうしても使いたかったのです。ブーケを作ってくれる友人とはメールでのやり取りになり、イメージを伝えるのに苦労しました。いろいろなサイトを見て、自分の思い通りのバラの写真を見つけ、友人に送ったところ「私もこんな感じかな？って思ってた！ありがとうございます」と返事が来ました。

真夏にそのタイプのバラを使うのはかなり難しいと言われたものの、彼女を信じ、そして、当日。届いたブーケは、ひとつひとつのバラがレースで包まれ、開いても形が悪くならないように、また、涼しげに作られていました。彼女のセンスと心遣い、そして手間・・・本当に感動しました。会場の人や参列してくれた方々からも「素敵！」と言われ、幸せな気持ちがより大きくなりました。

もちろん今でも、一番好きなバラは、オールドイングリッシュローズです。(YT様)



2年前、オールドローズ系の白い薔薇の苗を庭に植えました♪香りがとても良く、ドライにするとほんのりピンクになります。今年はたくさん咲くといいな♪ 今年はお風呂に入れて楽しんでみる予定です！（さやん様）





ザボテンすら枯らした過去がありながら、まるで取り憑かれたかのように薔薇の鉢をバルコニーに増やしていった熱病の日々を経て今は放任主義でお世話は最低限。それでも花を咲かせ花弁を揺らしその姿と香りを愉しませてくれる健気さに感謝しつつ、春には秋の花の色深さを思い秋には春の爆発的な咲き急ぐ様子を思う身勝手さ。こぼれるように咲いても一輪だけ咲いても馥郁たる香りは心を満たし口端を綻ぼせる。想いは静かに深く忘れ得ぬ憧れ。(Y.K.様)



イギリスに行った時にバラのジャムをだされたのが、私と薔薇の出会いのきっかけです。その味、香りに魅了されそれから薔薇製品には目がないわたしです。（オードリー様）



LükUSA

著作：本物の薔薇の香り「ルクサ」。無料トライアル有り。

<http://www.lukusa.net/jp/>

著者：内村竹志（プロフィール）

<http://www.facebook.com/takeshi.uchimura>

内村撮影によるもう一つの写真集「溶けゆく薔薇」

<http://p.booklog.jp/book/75192/read>

本書をお読みになった感想はこちらの投稿ページから

<http://www.lukusa.net/jp/inq/fan.html>

Copyright(c) Takeshi Uchimura All rights reserved.